



2022年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社ダイレクトマーケティングミックス 上場取引所 東
 コード番号 7354 URL https://dmix.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表執行役社長CEO (氏名) 小林 祐樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役CFO (氏名) 土井 元良 TEL 06 (6809) 1615
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	18,373	22.3	3,936	34.9	3,915	39.8	2,513	31.3	2,513	31.3	2,479	29.5
2021年12月期第2四半期	15,026	31.9	2,917	20.4	2,800	17.2	1,914	20.0	1,914	20.0	1,914	20.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	56.42	52.30
2021年12月期第2四半期	47.37	40.04

(注) 当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	28,080	13,928	13,928	49.6
2021年12月期	26,837	11,599	11,599	43.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 配当予想の修正については、本日（2022年8月12日）公表しました「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。
 また、当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。2021年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しています。

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	10.6	5,500	15.1	5,450	17.4	3,770	17.2	3,770	17.2	84.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日（2022年8月12日）公表しました「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期2Q	44,675,600株	2021年12月期	44,457,200株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	300株	2021年12月期	278株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期2Q	44,549,450株	2021年12月期2Q	40,398,521株

(注) 当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2022年8月15日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により厳しい状況が続いていましたが、ワクチン接種の進展等により経済活動の正常化に向けた持ち直しの動きがみられました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の再拡大懸念や、国際情勢の緊迫化による影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

当業界においては、アウトソーシング需要が引き続き堅調に推移したことに加え、生活様式の変化やDXの推進を背景に、非対面販売チャネルをはじめとする新たなサービスへのニーズが高まっています。

こうした環境のもと、当社グループは通信インフラからの業務受託が順調に展開したほか、新たな事業領域の開拓も進みました。

また、新型コロナウイルスワクチン接種予約関連業務が好調に推移したことにより利益を押し上げるとともに、社会インフラとしての一翼を担いました。

加えて、成長戦略を推進するため、既存顧客の深耕や新規クライアントの開拓に注力したほか、採算性の向上や低採算業務の見直しなどにより収益力アップに努めてきました。さらに、競争力の源泉である優秀な人材の確保、育成を図るため、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を勘案した多様な勤務体系やオフィス環境の改善等、従業員が活躍できる環境づくりを進めるなど、働きがいのある企業風土の醸成に取り組んできました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益は18,373百万円（前年同四半期比22.3%増）、営業利益は3,936百万円（前年同四半期比34.9%増）、税引前四半期利益は3,915百万円（前年同四半期比39.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,513百万円（前年同四半期比31.3%増）となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

(マーケティング事業)

既存顧客や新規クライアント向け業務受託が順調に推移したほか、新型コロナウイルスワクチン接種関連の業務受託等が業績向上に寄与しました。

この結果、マーケティング事業の売上収益は16,897百万円（前年同四半期比20.6%増）、営業利益は4,537百万円（前年同四半期比35.9%増）となりました。

(オンサイト事業)

近年の労働環境の変化により営業人材の派遣ニーズは底堅く推移しました。一方、労働市場において、優秀な人材の確保や知名度の底上げを狙うため、広告宣伝活動に係る費用を増加しました。

この結果、オンサイト事業の売上収益は2,584百万円（前年同四半期比20.8%増）、営業利益は9百万円（前年同四半期比86.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

	前連結会計年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減額 (百万円)
資産合計	26,837	28,080	1,243
負債合計	15,238	14,152	△1,086
資本合計	11,599	13,928	2,329
資本（親会社の所有者に帰属する持分）	11,599	13,928	2,329

(資産の分析)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、28,080百万円となりました（前連結会計年度末は26,837百万円）。これは主に、現金及び現金同等物が1,379百万円増加した一方、営業債権及びその他の債権が136百万円及び使用権資産が165百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

（負債の分析）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、14,152百万円となりました（前連結会計年度末は15,238百万円）。これは主に、未払法人所得税が323百万円増加した一方、営業債務及びその他の債務が738百万円及び借入金が381百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

（資本の分析）

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、13,928百万円となりました（前連結会計年度末は11,599百万円）。これは主に、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により利益剰余金が2,291百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,379百万円増加し、6,446百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2,850百万円となりました（前年同四半期は1,516百万円の収入）。これは主に、税引前四半期利益が3,915百万円、減価償却費及び償却費が711百万円の計上、営業債権及びその他の債権の増加が340百万円、営業債務及びその他の債務の減少が684百万円及び法人所得税の支払額が603百万円それぞれ生じたこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、322百万円となりました（前年同四半期は517百万円の支出）。これは主に、有形固定資産の取得による支出が182百万円生じたこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,148百万円となりました（前年同四半期は1,106百万円の支出）。これは主に、長期借入金の返済による支出が387百万円、リース負債の返済による支出が559百万円及び配当金の支払額が222百万円それぞれ生じたこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想については、マーケティング事業において既存顧客や新規クライアント向け業務受託が順調に推移していることに加え、新型コロナウイルスワクチン接種関連業務等の寄与もあり、売上収益、営業利益、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益が、2022年2月14日に公表した業績予想を上回る見込みとなりましたので、業績予想を修正しました。

詳細については、本日（2022年8月12日）公表しました「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,067,037	6,446,105
営業債権及びその他の債権	4,494,008	4,358,339
その他の流動資産	140,480	263,116
流動資産合計	9,701,525	11,067,560
非流動資産		
有形固定資産	1,672,583	1,628,217
使用権資産	2,867,517	2,702,095
のれん	10,984,224	10,984,224
その他の無形資産	76,916	69,574
繰延税金資産	495,409	510,699
その他の金融資産	1,022,457	1,105,133
その他の非流動資産	16,275	12,443
非流動資産合計	17,135,381	17,012,385
資産合計	26,836,906	28,079,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	4,177,961	3,439,995
借入金	768,993	769,470
未払法人所得税	1,078,615	1,401,164
その他の金融負債	1,014,877	1,014,110
その他の流動負債	1,019,382	915,032
流動負債合計	8,059,827	7,539,772
非流動負債		
借入金	4,972,268	4,590,890
引当金	358,573	353,198
その他の金融負債	1,841,879	1,660,190
その他の非流動負債	5,182	7,463
非流動負債合計	7,177,903	6,611,741
負債合計	15,237,730	14,151,513
資本		
資本金	1,866,828	1,921,685
資本剰余金	1,854,394	1,865,804
利益剰余金	7,824,058	10,115,110
自己株式	△463	△500
その他の資本の構成要素	54,358	26,333
親会社の所有者に帰属する持分合計	11,599,176	13,928,432
資本合計	11,599,176	13,928,432
負債及び資本合計	26,836,906	28,079,945

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	15,026,212	18,372,584
営業費用	△12,142,126	△14,447,955
その他の収益	36,647	29,548
その他の費用	△3,530	△18,656
営業利益	2,917,203	3,935,522
金融収益	978	1,665
金融費用	△117,818	△22,682
税引前四半期利益	2,800,362	3,914,504
法人所得税費用	△886,562	△1,401,168
四半期利益	1,913,800	2,513,336
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,913,800	2,513,336
四半期利益	1,913,800	2,513,336
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	47.37	56.42
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	40.04	52.30

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	1,913,800	2,513,336
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	—	△34,710
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	△34,710
その他の包括利益合計	—	△34,710
四半期包括利益	1,913,800	2,478,626
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,913,800	2,478,626
四半期包括利益	1,913,800	2,478,626

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2021年1月1日現在	1,600,000	1,609,578	4,707,624	△69
四半期利益	—	—	1,913,800	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	1,913,800	—
新株予約権の増減	58,237	58,237	—	—
譲渡制限付株式報酬	40,326	△25,666	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△238
剰余金の配当	—	—	△100,252	—
所有者との取引等合計	98,563	32,571	△100,252	△238
2021年6月30日現在	1,698,563	1,642,149	6,521,172	△307

その他の資本の構成要素

	新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
2021年1月1日現在	83,216	—	83,216	8,000,349	8,000,349
四半期利益	—	—	—	1,913,800	1,913,800
その他の包括利益	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	—	1,913,800	1,913,800
新株予約権の増減	△46	—	△46	116,427	116,427
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	14,660	14,660
自己株式の取得	—	—	—	△238	△238
剰余金の配当	—	—	—	△100,252	△100,252
所有者との取引等合計	△46	—	△46	30,597	30,597
2021年6月30日現在	83,169	—	83,169	9,944,746	9,944,746

当第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

（単位：千円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2022年1月1日現在	1,866,828	1,854,394	7,824,058	△463
四半期利益	—	—	2,513,336	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	2,513,336	—
新株予約権の増減	11,232	11,232	—	—
譲渡制限付株式報酬	43,625	178	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△37
剰余金の配当	—	—	△222,285	—
所有者との取引等合計	54,857	11,410	△222,285	△37
2022年6月30日現在	1,921,685	1,865,804	10,115,110	△500

その他の資本の構成要素

	新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
2022年1月1日現在	54,358	—	54,358	11,599,176	11,599,176
四半期利益	—	—	—	2,513,336	2,513,336
その他の包括利益	—	△34,710	△34,710	△34,710	△34,710
四半期包括利益合計	—	△34,710	△34,710	2,478,626	2,478,626
新株予約権の増減	6,684	—	6,684	29,149	29,149
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	43,802	43,802
自己株式の取得	—	—	—	△37	△37
剰余金の配当	—	—	—	△222,285	△222,285
所有者との取引等合計	6,684	—	6,684	△149,371	△149,371
2022年6月30日現在	61,043	△34,710	26,333	13,928,432	13,928,432

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,800,362	3,914,504
減価償却費及び償却費	467,197	711,471
固定資産除売却損	648	17,993
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,945	233
金融収益	△978	△1,665
金融費用	117,818	22,682
株式報酬費用	28,082	53,062
有給休暇引当金	96,574	59,184
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,116,857	△340,026
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△92,239	△684,228
賞与引当金の増減額 (△は減少)	63,236	△78,857
その他	△233,596	△209,555
小計	2,136,190	3,464,799
利息の受取額	18	24
利息の支払額	△29,423	△11,838
法人所得税の支払額	△590,711	△603,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,516,075	2,849,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△222,485	△181,938
無形資産の取得による支出	△9,810	△7,930
敷金及び保証金の差入による支出	△214,741	△48,211
その他	△70,437	△84,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△517,474	△322,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△6,755,000	△386,660
長期借入れによる収入	6,000,000	—
配当金の支払額	△100,252	△222,285
新株予約権の行使による収入	103,006	19,889
自己株式の取得による支出	△238	△37
リース負債の返済による支出	△353,651	△559,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,106,136	△1,148,303
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△107,535	1,379,068
現金及び現金同等物の期首残高	3,692,215	5,067,037
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,584,680	6,446,105

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

「マーケティング事業」、「オンサイト事業」の2つを報告セグメントとしています。

なお、報告セグメントを形成していない事業セグメント及び集約した事業セグメントはありません。

「マーケティング事業」においては、主に以下の事業を行っています。

① ダイレクトマーケティング

自社で運営するコンタクトセンターにおける当社グループのコミュニケーター（クライアント企業のエンドユーザーとダイレクトマーケティングチャネルを通じた直接の対話を行う当社の人材）による電話コンタクト、直接訪問、Webコンタクト等のチャネルを通じて、顧客企業に代わってエンドユーザーに対し商品・サービスのセールス、訪問のためのアポイントの獲得等を行っています。取扱商品・サービスの具体例として、当社の主要ターゲット市場のひとつである通信インフラセクターにおいては通信回線（固定通信、移動通信）や通信端末、その他付随サービスのセールス等を行っています。また、保険代理店として一般消費者向けに保険商品の提案も行っています。

② コンサルティング

ダイレクトマーケティングを通じて蓄積した情報資産を活用し、顧客企業の課題や目的に合わせた、営業・マーケティング戦略について戦略及び計画の策定からシステムの構築、実際の運用に至るまでのサービスの提供を行っています。コンタクトセンターの運用や商品開発に関する助言、営業部門の人員に対する研修、市場調査など多岐にわたるコンサルティングを実施しています。

③ ビジネス・プロセス・アウトソーシング

顧客企業の営業・マーケティング活動に関連する付随業務の受託により、自社で抱えているとコストや工数がかかる業務の一括代行等、煩雑な作業の省力化・簡素化をサポートする業務を行っています。具体例としてエンドユーザーと顧客企業間での契約締結事務の代行や、ダイレクトメール等のプロモーションメディアにかかる業務代行等を実施しています。

(注) プロモーションメディアはマスメディア・インターネットを除く他メディアを指します。

「オンサイト事業」においては、人材派遣事業として、顧客企業の営業・マーケティング部門のほか、当社グループ企業のマーケティング事業向けにコミュニケーター等の派遣を行っています。

「調整額」には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用には管理・監督を行う当社（持株会社 株式会社ダイレクトマーケティングミックス）の費用が含まれています。

(2) 報告セグメントに関する情報

セグメント間の取引は、市場実勢（第三者取引）価格に基づいています。

なお、財務費用などの営業損益に帰属しない損益は報告セグメントごとに管理していないため、これらの収益又は費用はセグメントの業績から除外しています。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	(単位：千円) 連結
売上収益				
外部収益	13,997,751	1,028,461	—	15,026,212
セグメント間収益	16,438	1,110,005	△1,126,443	—
売上収益合計	14,014,189	2,138,466	△1,126,443	15,026,212
セグメント利益 (注) 2	3,338,175	70,481	△491,453	2,917,203
その他の損益				
減価償却費及び償却費	433,629	3,702	29,865	467,197
金融収益	952	3	23	978
金融費用	△4,603	—	△113,215	△117,818
報告セグメントの税引前四半期利益	3,334,524	70,484	△604,646	2,800,362

(注) 1. セグメント利益の調整額△491,453千円には、報告セグメントに帰属しない営業費用△489,319千円が含まれています。

2. セグメント利益は営業利益で表示しています。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	(単位：千円) 連結
売上収益				
外部収益	16,846,742	1,525,843	—	18,372,584
セグメント間収益	49,839	1,058,475	△1,108,314	—
売上収益合計	16,896,580	2,584,318	△1,108,314	18,372,584
セグメント利益 (注) 2	4,537,169	9,330	△610,977	3,935,522
その他の損益				
減価償却費及び償却費	681,838	4,907	24,726	711,471
金融収益	1,590	2	73	1,665
金融費用	△4,826	—	△17,856	△22,682
報告セグメントの税引前四半期利益	4,533,932	9,332	△628,760	3,914,504

(注) 1. セグメント利益の調整額△610,977千円には、報告セグメントに帰属しない営業費用△610,746千円が含まれています。

2. セグメント利益は営業利益で表示しています。

前第2四半期連結会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（単位：千円）

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	連結
売上収益				
外部収益	7,311,985	599,220	—	7,911,205
セグメント間収益	8,229	556,847	△565,076	—
売上収益合計	7,320,214	1,156,067	△565,076	7,911,205
セグメント利益（注）2	1,695,943	47,265	△286,341	1,456,867

その他の損益

減価償却費及び償却費	227,800	1,909	15,260	244,970
金融収益	561	1	10	572
金融費用	△2,301	—	△9,612	△11,913
報告セグメントの税引前四半期利益	1,694,203	47,266	△295,943	1,445,526

（注）1. セグメント利益の調整額△286,341千円には、報告セグメントに帰属しない営業費用△284,827千円が含まれています。

2. セグメント利益は営業利益で表示しています。

当第2四半期連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

（単位：千円）

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	連結
売上収益				
外部収益	7,483,654	752,430	—	8,236,084
セグメント間収益	25,230	466,563	△491,793	—
売上収益合計	7,508,884	1,218,993	△491,793	8,236,084
セグメント利益（△は損失） （注）2	1,587,032	△50,978	△296,278	1,239,776

その他の損益

減価償却費及び償却費	343,199	2,481	12,622	358,302
金融収益	787	1	31	819
金融費用	△2,280	—	△8,786	△11,066
報告セグメントの税引前四半期利益（△は損失）	1,585,539	△50,978	△305,032	1,229,529

（注）1. セグメント利益（△は損失）の調整額△296,278千円には、報告セグメントに帰属しない営業費用△296,046千円が含まれています。

2. セグメント利益（△は損失）は営業利益で表示しています。